

事業の名称 : 海洋アジアの絆フェスタ 2025in 葛西 May
開催場所 : 都立葛西臨海公園（日本庭園前）
開催期間 : 令和7年5月17日～5月25日（9日間）
参加人数 : 約8,000名

目的

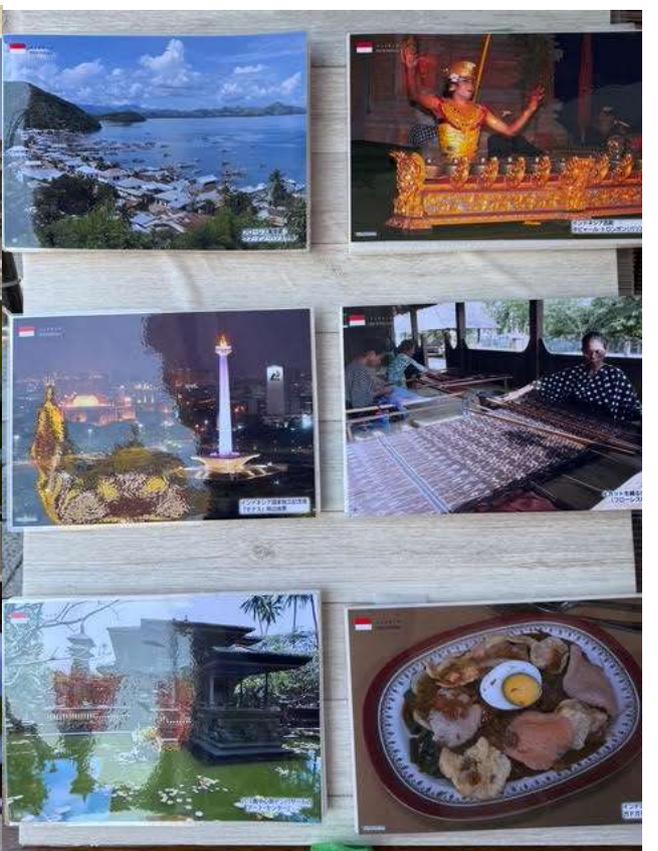
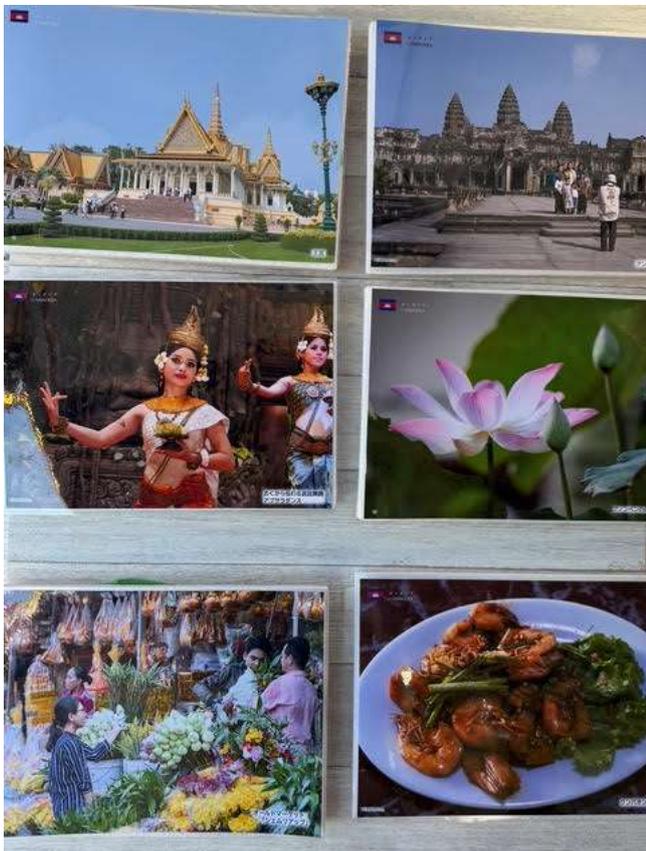
海洋アジア各国の歴史とスポーツ文化を学び、市民レベルでの交流を深めるために、各国の案内となる展示やステージ、物産の紹介となるフェスティバルを開催する。都民、在留外国人、訪日外国人を対象として、それぞれの興味に基づいて参加できる内容を目指し、誰でも気軽に自由にアクセスしやすい首都圏の公園において実施する。

① 展示ブース

ASEAN 諸国を紹介するブースを二か所設置。各国の特集記事をパネル写真や観光パンフレットなどで紹介。映像や解説のアナウンスを実施、さらに各参加者へ個別に説明をするなどして、楽しめる内容に充実させた。

二か所のブースに於いて、来場者が ASEAN 諸国など海洋アジア諸国に興味を抱く内容に努めた。会場入り口付近には写真展示ブースを設置して公園利用者に当イベントの趣旨を周知してもらえよう心掛けた。写真は合計120枚を作製して展示、来場者に楽しんでいただいた。





② ステージイベント

ステージでは写真や地図を用い、アセアン諸国や台湾などの近隣諸国を紹介。来場者が近隣諸国をより身近に感じてもらえるよう努めた。

一週目の週末では5月16日に発生したラオス北部を震源とする大地震についてメディア報道を参考に解説し、ラオス大使館や赤十字を通じて現地への支援募金を呼び掛けた。

二週目の週末はインドネシアから技能実習で来日している女性グループと対談、日本での生活について感想を語ってもらった。



③ 食文化・友好親善

会場には各国の料理を提供する模擬店や休憩所を設けた。来場者と交流できる場の提供に努めた。





感染拡大防止対策について

屋外イベント開催にあたって、コロナウイルスやインフルエンザなど感染症の拡大防止に努めるため、東京都をはじめ各機関の方針に従い、適宜実施した。

休憩所内では各テーブルにアルコール消毒液を配置して来場者に手指消毒のご協力をお願いした。ステージ前では密状態にならないよう、また休憩所では宴会状態にならないよう来場者に呼びかけ、感染症の拡大防止に努めた。

※今回は初日雨天でのスタートとなった。昨年の同時期と比べ公園を訪れる人は少なかったが、お越し頂いた来場者には写真パネルや模擬店を存分に楽しんでいただくことができた。

昨年11月開催から新設、実施している『写真パネルブース』も写真枚数を大幅に増やしたことや写真にキャプションを加えたことでさらに楽しめるものとなったことから、来場の皆様から高い評価をいただいた。今後も引き続き『写真パネルブース』の充実を図っていく予定。

これからも関係各位のご協力とご指導をいただきながら、健全なる国際交流イベントを継続してまいります。

引き続きご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

主催	海洋アジアの絆実行委員会（実行委員長 三澤 浩一） （事務局長 兼 現場責任者 平岡 元秀）
後援	東京都、江戸川区、国際機関日本アセアンセンター
協賛	一般財団法人大東会館、つながろう日本！連絡協議会